

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年03月01日

計画の名称	広域的な交流や都市力を高める基盤整備（第二期）													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	相模原市													
計画の目標	広域ネットワークを形成する道路等の整備を進め、活力あふれ安心して暮らせる広域交流拠点都市を形成する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		9,169	A	9,169	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	・地域間を結ぶアクセス時間として、相模大野駅から藤野駅までの往復時間を161分から155分に短縮する。 道路現況データ（センサス）や道路整備区間から相模大野駅から藤野駅までの往復のアクセス時間を算出する。	H31当初 161分		R5末 155分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(市) 相原76号ほか	交差点改良 L=0.1km	相模原市	■					6	—	
	A01-002	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(市) 相原大沢・第4工区	バイパス整備 L=0.18km	相模原市	■	■	■	■	■	368	—	
	A01-003	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	改築	(主) 町田厚木・南台	交差点改良 L=0.3km	相模原市	■	■	■	■	■	324	—	
	A01-004	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	改築	(主) 相模原大磯・高田橋工区	交差点改良 L=0.11km	相模原市	■	■				13	—	
	A01-005	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(市) 相原宮下・延伸部	バイパス整備 L=0.84km	相模原市	■	■	■	■	■	881	—	
	A01-006	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(市) 淵野辺中和田	交差点改良 L=0.3km	相模原市	■					703	—	
	「通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画（防災・安全）」へ移行																		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(市) 相原大山・西橋本	交差点改良 L=0.32km	相模原市	■					504		—
	「通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画（防災・安全）」へ移行																		
	A01-008	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 宮下横山台線	バイパス整備 L=0.34km	相模原市		■	■	■	■	1,179		—
	A01-009	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 相模原二ツ塚線	現道拡幅 L=1.01km	相模原市	■	■	■	■	■	175		—
	A01-010	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 宮上横山線	バイパス整備 L=0.67km	相模原市	■	■	■	■	■	1,335		—
	A01-011	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	改築	(一) 長竹川尻・長竹川尻Ⅱ期	バイパス整備 L=1.00km	相模原市	■	■	■	■	■	2,664		—
	「さがみ縦貫道路IC関連事業」から移行																		
	A01-012	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 橋本大通り線	現道拡幅 L=0.49km	相模原市		■	■	■	■	564		—
	A01-013	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 洲野辺駅山王線	現道拡幅 L=0.05km	相模原市		■	■	■	■	133		—
	A01-014	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(市) 相原大沢・第2工区	現道拡幅 L=0.38km	相模原市		■	■	■	■	96		—

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-015	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村	改築	(市) 補給廠1号(相模原駅北口南北線)	踏切改良	相模原市			■	■	■	168		—	
	A01-016	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府	改築	(主) 相模原町田	現道拡幅 L=3.5km	相模原市					■	56	1.47	—	
	「相模原市麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業（産業・みどり・文化・生活などが融合した新たな都市づくりを進める拠点の整備）（第二期）」から移行																			
												小計						9,169		
												合計						9,169		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	97	107	674	76	
計画別流用増△減額 (b)	347	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	444	107	674	76	
前年度からの繰越額 (d)	0	23	50	287	
支払済額 (e)	421	80	437	227	
翌年度繰越額 (f)	23	50	287	94	
うち未契約繰越額 (g)	23	46	245	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	42	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.18	35.38	33.83	11.57	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		地権者との交渉に時間を要したため。	地権者との交渉に時間を要したため。関係機関協議に時間を要したため。	地権者との交渉に時間を要したため。出土品等詳細分析作業に不測の日数を要したため。	

事前評価チェックシート

計画の名称： 広域的な交流や都市力を高める基盤整備（第二期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合が図られている。（計画名 国土形成計画全国計画、社会資本整備重点計画、新・相模原市総合計画）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面)

区分	2	広域的な交流や都市力を高める基盤整備（第二期）	交付対象	相模原市
計画の期間	平成31年度～令和5年度（5年間）			

